

横須賀市へ海運・船員の政策諸課題に関する申し入れ
フェリー航路存続に向けた支援を要請

関東地方支部は1月27日、横須賀市に対し、第85回定期全国大会決定事項に基づく海運・船員の政策諸課題に関する申し入れを行い、上地克明横須賀市長にご対応頂いた。

申し入れは高宮成昭関東地方支部長に、手塚幸子全国海友婦人会関東・新潟ブロック長と伊関功滋横須賀市議会議員（組合政治参与）が同行した。

高宮関東地方支部長から申し入れ文書を上地横須賀市長へ手交し、本組合と全国海友婦人会の諸活動に対する協力について感謝を述べ、申し入れの趣旨を説明した。

また、東京湾フェリーを用いた小学生向けの体験航海の企画についても説明し、協力を要請した。続いて高瀬雄一東京湾フェリー職場委員から、東京湾アクアラインと競合する状況から、厳しい経営状況が続いている東京湾フェリーの現状を説明し、フェリー航路存続に向けた支援措置や、代替船建造に対する支援を要請した。

上地横須賀市長からは「個人的に東京湾フェリーを利用している。横須賀市は海洋都市を目指しており、海運・水産業は基幹産業と考えている。予算の限度もある中で、支援できることがあるか検討したい」と見解が示された。

その後の意見交換の中で、今後、東京湾フェリーの利用者を増やすために、千葉県に対し、より積極的な観光客の誘致活動を要請する必要があるとの相互理解を深めた。

「海員だより」